

タウンアートミュージアム

～ 東京芸術大学との連携事業 ～

なぜこの事業を行っているのですか？

台東区には日本で唯一の国立の総合芸術大学である東京芸術大学があります。大学では、地域との連携に力を入れており、いろいろな場所でワークショップ（👉解説）、展覧会、シンポジウムなどを行っています。これまで区も、学生の優れた卒業制作を表彰する「台東区長賞」など、大学と連携していろいろな事業を行ってきました。

タウンアートミュージアムは、区と大学の連携事業のひとつとして、平成19年度から平成21年度までの3年間行う事業です。台東区の魅力を大学生が表現することによって、区民の方が様々な芸術に触れる機会を作るとともに、より多くの方に台東区を訪れていただくことを目的としています。

どのようなことを行っていますか？

区内の様々な場所で展覧会、シンポジウム、ワークショップなどの芸術プログラムを行い、まち全体をミュージアム（美術館）化していく取り組みを進めています。

平成19年度に実施した8つのプロジェクト

小島アートプロジェクト

（現代アートの展覧会・ワークショップ）

サスティナブル・アートプロジェクト

（現代アートの展覧会）

彫刻アートプロジェクト（彫刻の展覧会）

MACHI-YATAI PROJECT

（谷中玉林寺で野外展示）

伝統技術応用によるイノベーション商品開発プロジェクト（区内の伝統工芸職人とオリジナル商品の開発）



彫刻作品の展示



ワークショップの様子

アートランドコミュニケーション

（隅田公園で野外展示）

伝統と現代

（版画の展覧会・ワークショップ）

岡倉天心（👉解説）作オペラ「白狐」公演（大学創立120周年を記念して、幻のオペラを再現）

事業の進み具合はどうか？

この事業は平成19年度から始め、多くの方に関心を持っていただき、8つのプロジェクトにおける参加者の総数は47,220人にのぼりました。平成20年度は「白狐」の公演に代わって、佐竹商店街で野外展示を行なう「ミチクサゴヤプロジェクト」を実施しました。なお、平成20年度・21年度は各年度50,000人の参加を目標としています。



MACHI-YATAI PROJECT
の風景

今後はどのように取り組んでいくのですか？

小中学生の皆さんが楽しみながら参加できるワークショップを実施するなど、より多くの方に参加していただけるような取り組みを進めていきます。

また、平成20年10月24日に台東区と大学でより強固な関係を築くために協定を結びました。今後は、この協定に基づき、いろいろな連携事業を行っていきます。

この事業に関するお問合せは

文化観光部文化振興課

03 - 5246 - 1146

平成21年4月から文化産業観光部文化振興課が担当します。

【解説】

ワークショップ

体験型の講座のことです。この事業では、大学の先生や学生が講師となって絵や造形などの作品を制作する講座を行っています。

岡倉天心

明治期に活躍した国際的な文化人です。東京美術学校（現・東京芸術大学）の設立に大きく貢献しました。